

2023年7月26日

日立エナジー

日立エナジーが、英国最長となる HVDC 連系線向け変換所の提供元に選定

HVDC 変換所の提供により、再生可能エネルギーの導入拡大に貢献



英国とノルウェーを結ぶノース・シー・リンク向けに納入した HVDC 変換所(英・ブライス)

日立エナジーは、英国エネルギー大手、SSE plc グループ傘下の送電会社である Scottish and Southern Electricity Networks(SSEN) Transmission(スコティッシュ・アンド・サウザン・エレクトリシティ・ネットワークス・トランスミッション)(以下、SSEN トランスミッション) と、英国の送電およびガス供給事業者であるナショナル・グリッドから、自励式 HVDC 変換所 2 基の提供元に選定されました。当社は今後受注に向けた協議を継続します。

2 基の HVDC 変換所は、英国北部のピーターヘッドと中部のドラックスを結ぶ、HVDC 連系線「イースタン・グリーン・リンク 2」向けに提供するものです。イースタン・グリーン・リンク 2 は、440km の海底ケーブルと 70km の地中ケーブルから成る英国最長^{*1}となる HVDC 連系線で、英国の 200 万世帯以上の電力需要に相当する^{*2} 最大 2,000MW の電力を 525kV の電圧で送電します。

今回当社は、受注契約に先行して選定されたことで、HVDC 変換所の提供に向けた生産能力拡大と人財確保に計画的に取り組むことができます。また、当社の提供するソリューションの標準化や、他の

HVDC プロジェクトとのシナジーも促進されます。

*1 [Joint venture to build UK's largest HVDC cable system \(英語サイト\)](#)

*2 [Eastern Green Link 2\(英語サイト\)](#)



イースタン・グリーン・リンク 2

スコットランド海域では、2030 年までに洋上風力発電の発電容量が 11,000MW に達することが期待されています*³。イースタン・グリーン・リンク 2 は、英国政府によるネットゼロ実現に向けた戦略*⁴ を支援するために、スコットランド北部において導入が進められる再生可能エネルギーを、英国の沿岸地域や南部に送電することを目的に整備されるものです。

*3 [Offshore wind policy statement - gov.scot \(英語サイト\)](#)

*4 [Net Zero Strategy: Build Back Greener - GOV.UK \(英語サイト\)](#)

日立エナジーは、HVDC 変換所の設置にあたり、英国の建設会社であるビーエーエム・ナットール(以下、ビーエーエム)と協力します。ビーエーエムとの協力により、両社のコアコンピタンスを活用して、プロジェクトに最高クラスのソリューションを提供します。

日立エナジーのグリッドインテグレーションビジネスユニット担当役員であるニクラス・パーソンは、「英国のネットゼロ戦略には高い目標が設定されており、多くの再生可能エネルギーが必要となります。当社は、先駆的な HVDC 技術により、再生可能エネルギーを電力の需要地に確実かつ効率的に供給することを支援します。」と述べています。

ナショナル・グリッドの副プロジェクトディレクターであるサラ・セールは、「イースタン・グリーン・リンク 2 は、英

国がネットゼロとエネルギー安全保障に関する目標を達成するための新しいインフラです。今回の発表は、イースタン・グリーン・リンク 2 にとって、当社と SSEN トランスミッションによる本事業推進に向けた合意や、ケーブル業者の選定に並ぶ、重要なマイルストーンです。日立エナジーとビーエーエムが協力してプロジェクトを進めていくことを楽しみにしています。」と述べています。

SSEN トランスミッションのプロジェクトディレクターであるリック・サエズは、「HVDC 変換所は、海底ケーブルで送られる電力を陸上の送電網に連系するために重要な役割を果たします。日立エナジーとビーエーエムによる技術提供を受けられることは、プロジェクトにとって素晴らしいことです。」と述べています。

ビーエーエムのエグゼクティブディレクターであるヒュー・ジョーンズは、「ビーエーエムは、本プロジェクトにおいて、日立エナジーと協力できることを嬉しく思います。今回導入される HVDC 変換所は、英国のネットゼロ目標の達成を支援し、エネルギーセキュリティを向上させるものです。お客さまやステークホルダー、地域社会のために持続可能なインフラを提供するという当社のビジョンを実現するため、アバディーンシャーとノース・ヨークシャーの地域社会やサプライヤーと協力できることを楽しみにしています。」と述べています。

再生可能エネルギーの系統連系には、系統のレジリエンス、安定性、柔軟性を高めるソリューションが必要です。日立エナジーは、自励式 HVDC、パワーエレクトロニクス、制御・保護(MACH™^{*5})技術に関する長年にわたる開発とイノベーションにより、多くの画期的な系統連系プロジェクトに携わってきました。約 70 年前に商用 HVDC 技術を開発し、以来、世界の HVDC プロジェクトの半数以上で、納入実績を有しています。

*5 [Modular Advanced Control for HVDC \(MACH™\)制御保護システム](#)

■ HVDC ウェブサイト

<https://www.hitachienergy.com/jp/ja/offering/product-and-system/hvdc>

■ 日立エナジーについて

日立エナジーは、持続可能なエネルギーの未来へ向けた取り組みを加速する、グローバルな技術リーダーです。さまざまな分野のお客さまに、バリューチェーン全体にわたる革新的なソリューションとサービスを提供するとともに、お客さまやパートナーとの協創により、カーボンニュートラル実現に向けたエネルギー転換に必要な、デジタル技術を活用した変革を実現します。日立エナジーは、社会価値、環境価値、経済価値のバランスを取りながら、世界でより持続可能、より柔軟、より安心・安全なエネルギーシステムを構築する取り組みを進めています。スイス・チューリッヒに本社を置き、全世界 90 カ国に約 40,000 人の従業員を擁しており、140 カ国以上の導入実績と、1 兆円を超える事業規模を有しています。

詳しくは、ウェブサイト(<https://www.hitachienergy.com/jp/ja>)をご覧ください。

■日立エナジー関連リンク

(1) 公式 LinkedIn(英語)

<https://www.linkedin.com/company/hitachienergy>

(2) 公式 Twitter(英語)

<https://twitter.com/HitachiEnergy>

■日立製作所について

日立は、データとテクノロジーでサステナブルな社会を実現する社会イノベーション事業を推進しています。お客さまの DX を支援する「デジタルシステム&サービス」、エネルギーや鉄道で脱炭素社会の実現に貢献する「グリーンエネルギー&モビリティ」、幅広い産業でプロダクトをデジタルでつなぎソリューションを提供する「コネクティブインダストリーズ」の事業体制のもと、IT や OT(制御・運用技術)、プロダクトを活用する Lumada ソリューションを通じてお客さまや社会の課題を解決します。デジタル、グリーン、イノベーションを原動力に、お客さまとの協創で成長をめざします。2022 年度(2023 年 3 月期)の連結売上収益は 10 兆 8,811 億円、2023 年 3 月末時点で連結子会社は 696 社、全世界で約 32 万人の従業員を擁しています。

詳しくは、日立のウェブサイト(<https://www.hitachi.co.jp/>)をご覧ください。

■日立グループ パワーグリッドポータルサイト

<https://www.hitachi.co.jp/products/energy/pg/>

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
